

小論文（表紙）

氏名	フリガナ	受験番号	※記入不要

(小論文論題)

2020年度 一般入試（春）

以下の論題から1つを選択し、所定の記入用紙3枚以内で記述してください（図表添付可）。

論題 1

ある家計は、貨幣所得を所与（一定）として、2つの財を購入（消費）して効用を得ているとする。この家計に対して、両方の財に同じ従価税率で課税する場合と異なる従価税率で課税する場合を考える。ただし、どちらの場合も税額は同じになるように税率が調整されると仮定する。このとき、家計の予算制約や効用水準に与える影響について理論的に分析してコメントせよ。なお、参考文献等を使用した場合、それらを必ず記載して、どこまでが引用でどの部分がオリジナルか明確にすること。

論題 2

赤井伸郎・石川達哉『地方財政健全化法とガバナンスの経済学』（2019年、有斐閣）を読み、彼らの現状認識に沿って、日本の地方債制度が抱える最も大きな問題点を1つとりあげ、その概要（なぜ、どのように、どの程度、誰にとって問題なのか）を説明せよ。
 なお、他の文献などから抜粋や引用を行う場合には、厳に通常の作法にならえ。

論題 3

J.G.Williamson(1965)の研究を参照して、経済発展と地域間格差の関係について論じなさい。その上で、日本もしくはあなたの出身国について、地域間格差の動向が上で述べたことと整合的であるか、可能な限り統計データ（出所は明記すること）に基づいて考察しなさい。

論題 4

以下の論文を探して読み、その仮説、先行研究、米国における検証結果、そして結論について、日本語もしくは英語で要領よくまとめなさい。ただし、p.6-9のモデルの説明は省略してよい。(2000字以内)

Daron Acemoglu and Pascual Restrepo. (2019) "Automation and New Tasks: How Technology Displaces and Reinstates Labor" Journal of Economic Perspectives Vol.33, No. 2 p.3-30.

* 選択した論題の欄に○を記してください。

論題 1	論題 2	論題 3	論題 4

※記入不要
